

「じんけん」ぽん

〈2006年12月 第32号〉

住所：〒277-0005 柏市柏5-2-17 電話 04-7165-8707 FAX 04-7165-8709

ホームページ <http://homepage2.nifty.com/ai-net/> メールアドレス bch13362@nifty.com



特集

〔教育タウンミーティング 2006〕

先月の活動

平成18年度東葛地区就労支援会議より

地域を歩く

子育て広場 ういず（柏市）

☆好評連載 「eye ネット」 & 「げんばから」

特集

伝えようわたしたちの声

教育タウンミーティング2006

東葛地区タウンミーティング実行委員会（千葉県盲・聾・養護が抗PTA 連合会）と千葉県教員会主催による教育タウンミーティングが11月11日（土）に開催されました。

「千葉県教育戦略ビジョン」「千葉県特別支援教育推進基本計画骨子案」の説明の後、全体会（意見発表会）となり、ライフステージ毎の意見発表がありました。



幼児期では今まで生育について相談するところがなく困っている。（保育士さん）親からは東葛では専門的なケアを受ける場所がないため遠くに通わなければならず、こどもと親に専門的なケアをしてくれる所が必要と切実に思った。検診では見つからず、普通に幼稚園に行けたが、わが子には目標の設定が高く、幼稚園で早くも親子共に自信を無くし孤立感を深めた体験をした、などの意見。

盲聾養護学校のアンケートでは学校の生徒数の増加で過密状況であり、教室が足りない状況があることそのため出来ないことが増えバザーも中止になったり、子どもが落ち着いて授業を受ける環境ではなくなってきたとの訴えがありました。この状況はどの養護学校でも切実で、改善が急であり、高等部の分校化等を検討して欲しいという具体的要望が沢山上がりました。

それに対し県では、そのことは理解しており、改善の必要は感じているとの回答がありました。

また、軽度発達障害児は東葛地域では6000人くらいいることになるが、その指導に養護学校の教員が当たることは無理がある。通級指導員は119人しかいないのにどうしてできるのかと疑問を投げかける声もあり、会場から支持の拍手がありました。どこかにポンと任せれば、それでOKとは誰も思えないことだけに、どうしても行くのか具体的な議論が必要です。

全体にこのタウンミーティングにいたる準備の中でアンケートも取るなど、この場を有意義に活用しようという熱い思いと、多くの課題が出されたタウンミーティングでした。今後の県の計画にどのように反映されるか注意していきたいものです。



<平成18年度東葛地域就労支援会議>に参加して

～「同情するなら、仕事くれ」本音と向き合うこと～

※ 平成18年11月22日（水）13時～16時に千葉県立養護学校流山高等養護学校にて、
「平成18年度東葛地域就労支援会議」が行われました。

参加機関は、東葛飾北部の5市25機関（うち学校関係8校）。グループディスカッションを中心に養護学校への要望や地域の実情について、話し合いが持たれました。就労支援というキーワードから

①ネットワークづくり ②ゴール（就職）は一緒 ③就職を目指すために…

という私の参加したグループ議論の中で印象に残った場面を発言者のお言葉を借りて、私の本音を含め報告します。

①ネットワークづくり

それぞれの機関の立場で出来ること出来ないことをはっきりとさせる。そして、その「強み」「弱み」を見せて色を出していく。すると隙間が出てくるので、その隙間をみんなで埋めていく。

しかし、「法人や関係機関のカラー、いわゆる（ちょっとした）こだわり、理念」がネックになることが多い。

②ゴール（就職）は一緒

その場面で本人と関わりを持つ機関の重要性はあるが、「〇〇支援計画」というものが、記録の保存機関等で形骸化される可能性がある。本人は人と付き合っているので、顔のつながりのある関係が大切で、「〇〇支援計画」に書けないような内容が、大切であると感じている。

■私の経験から）

社長面接の際に「君（私へ）、〇〇くんは彼女とか大切に思っている女性はいるのか？」と問われて、「えっ？」と私が本人の顔を見ると、すぐに社長さんが「大切な異性のいない奴に、いい仕事はできないな」と。とにかく就職、就職…とあせって、本人と向き合っていなかった自分を反省しました。

③就職を目指すために

保護者、本人、学校、職場、支援機関の引継ぎ…安心感のバトンタッチ、「バトンゾーン」（引継ぎの場）をしっかりと行う必要がある。（足を運んで、直接会って、話しを伺う。）

■「はたらきたいんです」とよく来所や電話を頂いて、サポートが始まるのですが、その方とお付き合いさせてもらうと、精神状態が不安定で「病と向き合うこと」が先なのでは？と感じることがあります。また、本人やご家族に多額の借金があり…生活支援なのか？就労支援なのか…なんて。

何でもかんでも〇〇支援だからと、紐づけてサポートを考えていくことには限界を感じます。

もう一度、『法人や関係機関のカラー、いわゆる（ちょっとした）こだわり、理念』がネックになることが多い。』の部分について、省みたことは…何でも相談を受けて、他の機関に丸投げ状態、また、勝手に個人の判断で動いて、周りに迷惑をかけ引継ぎすら出来ない状態…、そして、本人に迷惑をかけるといった点などを猛省し、真摯に取り組む必要があると感じました。

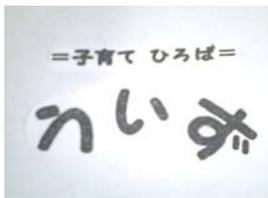
■「働きたい」とは「社会の役に立ちたい」「お金が欲しい」「世間体」…様々な思いの集合体。



「同情するなら、仕事くれ」という本音…もあること。

だからこそ「一緒に頭を抱えるスタンスを大切に」という（当日の発言）地域の尊敬する先輩からの言葉を大切にしたいと思います。

地域を歩く



住所：柏市松葉町 3-15-1 松葉町デポ 2F
電話：04-7134-7201

毎月3回（金曜日 10：30～12：30）
参加費 1組 500円・年間登録料 1,000円
当日参加大歓迎！！
参加費 500円は大人と子供の1組分の食事代
代も含まます



Q：始めたきっかけは？

A：会話がしたい・友達がほしい・話を聞いてほしいなどの声を聞き、お母さん達の交流の場を作りたいと思い、子供と一緒に遊びながらお母さん達の交流の場となってもらいたいと考え始めました。

Q：対象者は？

A：生後6ヶ月～4歳まで



この日は8人のお母さんと9人のお子さん達が、ドレミの歌が流れるお部屋で、カルタ遊びや積み木に追いかけて…。元気に大好きなお母さんやお友達と遊んでいたのがとても印象的でした。お昼ごはんの野菜の豚肉巻き、きのこたっぷりゴハン、かぼちゃのケーキもおいしそうに食べていました。

（代表者・北田さんより）

10月に始まったばかりですが、毎日頑張っているお母さんの子育ての悩みやコミュニケーションの場として、お母さんの輪を広げてもらい、近い将来にもっと住み良い環境作りのお手伝いをしていきたいと思っております。12月はクリスマス会もあります。みなさんの参加をお待ちしております。



げんばから～ つかず、離れず～

「パソコン習いたい、けど、安くて家から近くて、丁寧に教えてくれて…」など、聞くと、その人なりの細かい条件があり、通うことに至らない人がいます。

最初は親身になり、その人の条件を賢明に探していました。ふと、「その人自身でも色々調べていて、その人自分で探していると気づき」それからは、必要最低限の情報で本人に動いてもらうことにしました。「気にしてくれていない」など色々は言われますが、付かず離れず関わっていったら、気が付いたら、そばにいたみたいなの…

ついこちらが主体になって動いてしまうことが多く、一呼吸置くことも大事ということを利用者さんから学ばせもらい、相互作用で関わっていったらと思っています。



eye ねっと～ 地域生活と人手不足～

「人手不足」…「いい人いないかな～、誰か紹介して」なんて、声をかけていただきます。私のような立場の者にまで、問い合わせがあるなんて…と考えると「人手不足」も相当深刻なのではと感じます。

「地域生活」という言葉や「入所施設からの地域移行」という文章を様々なところで目にします。

「地域」って何だろう？

最近、人前でお話をさせていただくとき（めったにありませんが）「地域」という言葉を使わずに「顔見知り」という言葉を使うように心がけているのは、そのほうが、今の私にじっくりくるから。

一般的に「人手不足」を「派遣社員」という方法で解消していると聞きます。

「顔見知り」と「派遣社員」これからどの様に、リンクしていくのか想像もつきません。



Information お知らせ

■障害者の日講演会

～人にやさしい地域（まち）づくり～

日 時：平成 18 年 12 月 09 日（土）14:00～16:00

場 所：柏市中央公民館 5 階講堂

費 用：無料 定 員：180 名

問合わせ先：柏・地域福祉ネット

Tel090-5509-5398 FAX04-7107-0714

主催：とうかつ障害者の日実行委員会 後援：柏市、我孫子市、流山市

後援：中核地域生活支援センター（あいネット、ほっとねっと、のだネット）



■「保健師さんを交えてのお話し会」

子育てあれこれ…冬を乗りきる健康法

日 時：平成 18 年 12 月 22 日（金）11:00～12:00

場 所：柏市松葉町 3-15-1 松葉町デポー 2 F

参加費：無料（クリスマスランチバイキング 1,000 円）

定 員：要予約

申し込み・問合わせ先：＝子育てひろば＝ ういず

Tel04-7134-7201

■「うつ」当事者による自助会

～ひまわり会～

日 時：月に一回、第一火曜日 11:30～13:00

場 所：柏駅前のレストランで、昼食を食べながら話しをしています。

連絡先：090-9818-9210（11:00～20:00）

「ひまわりの会のことで」とおっしゃってください。

協 力：西深井地域生活支援センター すみれ

つかれがとれない、ねむれない、朝おきられない…

うつと診断されて治療をうけているが、なかなかおらない…

たれも、じぶんの苦しさをわかってくれない…



（編集後記）
法人の研修で保育園に行きました。裸
足で遊び、汗をかいたら園庭で水浴び
…元気をもらいました。（S）

10月号「地域を歩く」

NPO法人 ザフト

～ザフト相談センター開設のお知らせ～

うつ病・うつ状態で辛い方、悩んでいる方、またご家族で悩んでいる方のための
相談センターです。完全予約制となっております。

相談日：月曜日から金曜日まで

時 間：10:00～16:00

相談料：初回は 2,000 円（手数料 1,000 円、1 時間 1,000 円）

次回からは 1 時間 1,000 円

所在地：柏市北柏 3-1-1 昭信ビル 2 号館 3F-B（JR 北柏駅南口前サクス横）

電 話：04-7163-4533 URL：http://saft.cocolog-nifty.com